



南大隅町立 第一佐多中学校

生徒数 27人
学級数 4クラス



《テーマ》

性の多様性に関する人権教育の推進
～すべての生徒が自分らしい姿で受容される学校を目指して～

研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校では、昨年度から「LGBTQ教育」に力を入れて取り組んできた。今年度は性の多様性に関する人権教育を柱として、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、生徒一人一人がより自分らしい姿で受容される学校づくりを目指し、「チーム学校で取り組む人権教育」を推進していく。

研究スケジュール

7月12日(月) 性的マイノリティに関する人権学習
9月27日(月) 教職員向け人権研修会①
「性の多様性に関する人権教育の推進」
11月29日(月) 教職員向け人権研修会②
「同和問題に関する正しい理解について」
12月7日(火) 研究授業・教職員向け人権研修会③
「自殺予防教育について」

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 全校道徳の実施

多様な考えに触れ、道徳的価値について思考を深める授業を実践するために、年に数回全校道徳を実施した。授業づくりにおいては、人権同和教育係会を実施（隔週）し、「授業のねらいの吟味」や「発問の工夫」等について話し合った。



【全校道徳】

□ 町養護教諭等部会・小学校との連携

小中連携の一環として、研究授業（LGBTQ教育）・職員研修（自殺予防教育）に町の養護教諭等も参加し、人権教育について理解を深めた。

□ アライ宣言の実施

性的マイノリティの立場や思いに寄り添い、性的マイノリティに対する差別や偏見のない社会の実現に向けて生徒一人一人がアライ宣言をした。



【アライ宣言】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 人権学習を通して、生徒の性の多様性への意識が高まり、当事者を「受容したい」と考える生徒が増えた。「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができる人権感覚を育成することができた。
- 3回の教職員向け人権研修会で「LGBTQ教育」だけではなく、「同和問題」や「自殺予防教育」についても学ぶことができた。様々な人権問題を知ることによって、教職員の人権意識が高まり、「チーム学校で取り組む人権教育」の推進に役立てることができた。
- 今後は、性的マイノリティの当事者がいた場合の授業の在り方やLGBTQ教育以外の人権学習について、全職員で研修を深めていきたい。